

墓参

遠方、高齢者の需要増



遠方に住んでいて、墓参りの都合が付かない、体の調子が悪く、墓地まで出向けない。こうした悩みを解決しようとして「墓参り代行サービス」が、県内で徐々に広まっている。倉敷市真備町市場に事務所を構える岡山クリーンライフ（井上和之社長）も、その事業者の一つだ。

同サービスは、作業前

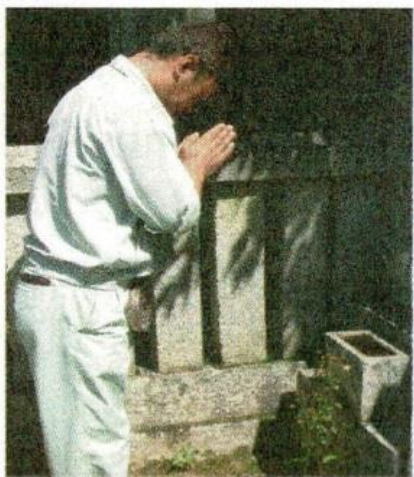
の礼拝から始まり、敷地の草取り、ゴミ拾いをして、墓石を洗剤を使って手洗い。線香と水、お花を供え、礼拝して終わる。作業前後には墓石や敷土の状態を写真撮影し、依頼主が確認できるようにしている。



作業用具は水、鎌、おけや洗剤など数多く、車の乗り入れできない墓地では何回かに分けて運ぶ

汚れ落としなどもできる。見込み。特にお盆前のこの時期は、主に関東、関西在住者からの問い合わせが多いという。

同社は06年、県内全域と広島県東部を対象に同サービスを開始。4〜6「誠意をもってすること



お参り代行は礼に始まり礼に終わる

基まとめての依頼の場合が何より。依頼主から感は丸1日かかる。ハウス謝されることが多く、クリーニングなどほかのやりがいがある。サービスの存在が口コミを通して広がるために、丁寧な仕事が続けていきたい」年の倍以上の件数になる（井上社長）。